



日本共産党100周年記念 練馬イベント

1923年 石神井臨時党大会 を追う

「石神井会議」とは何だったのか
何が話し合われたのか
練馬の革命運動の源流を探す

2022.12.04 石神井探訪実行委員会 (文責:樋口)

※記述は犬丸義一氏「第一次共産党史の研究」に多くを負った

1 日本共産党創成期(第一次共産党)における

「石神井会議」の位置付け

- ・1900年頃マルクス紹介記事
- ・1900年頃から労働運動勃興
- ・1901年 治安警察法公布
- ・1910年 大逆事件 大検挙
- ・1917年 ロシア10月革命
- ・1918年 米騒動 各運動へ影響
- ・1918年 第一次世界大戦終る

＜アナ・ボル論争＞

- 1921党創立準備委員会

1922
大11

- 7.15渋谷創立大会
- 11. コミンテルン第四大会

1923

- 2.04第二回市川大会
- **3.15石神井臨時大会**

- ・1923.6 暁の検挙(第一次共産党事件)
- ・1923.9 関東大震災
亀戸事件

1924

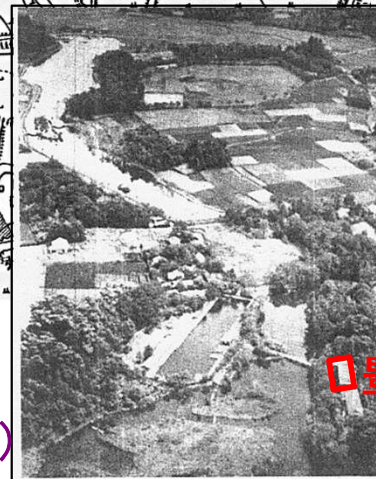
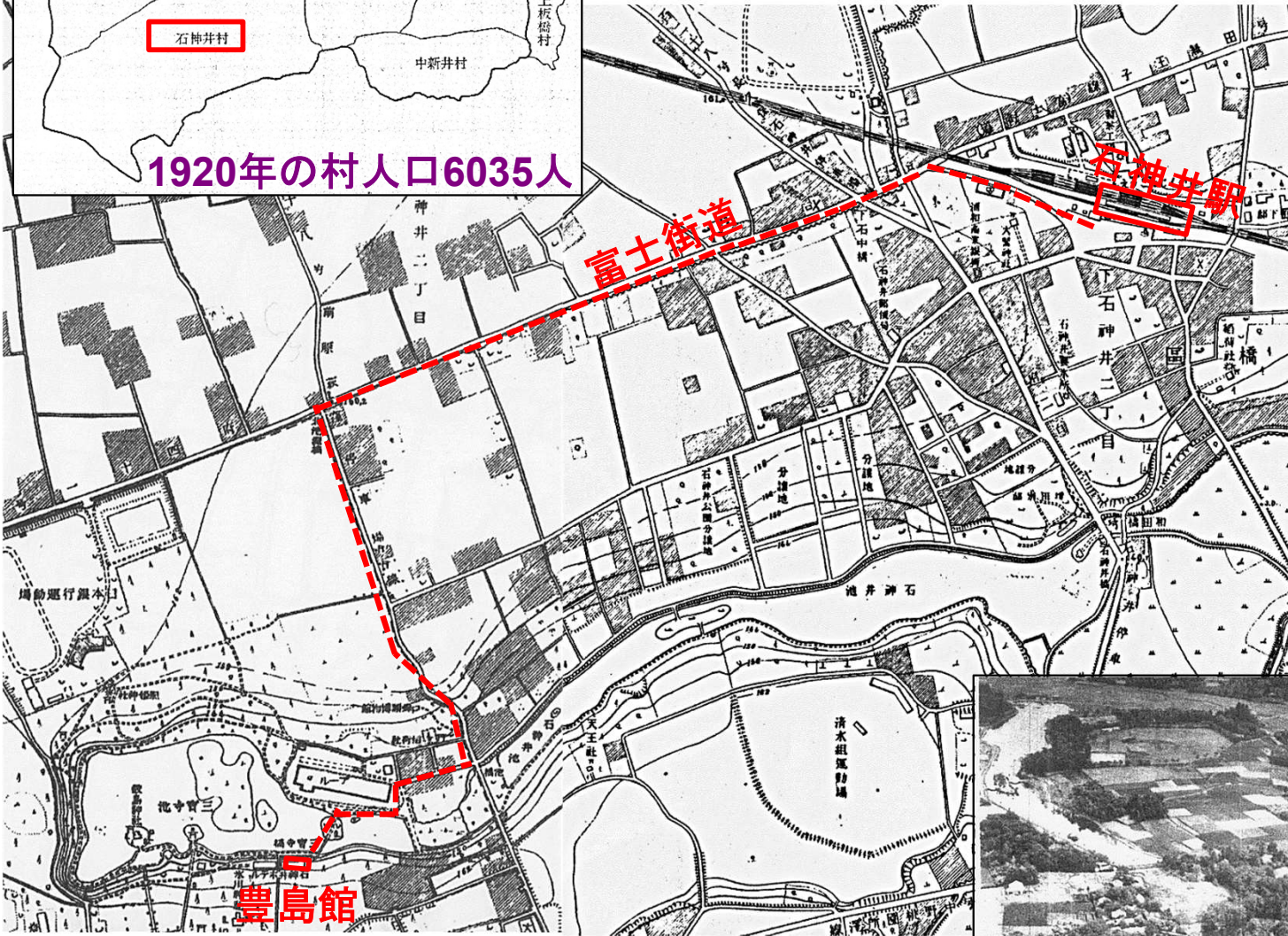
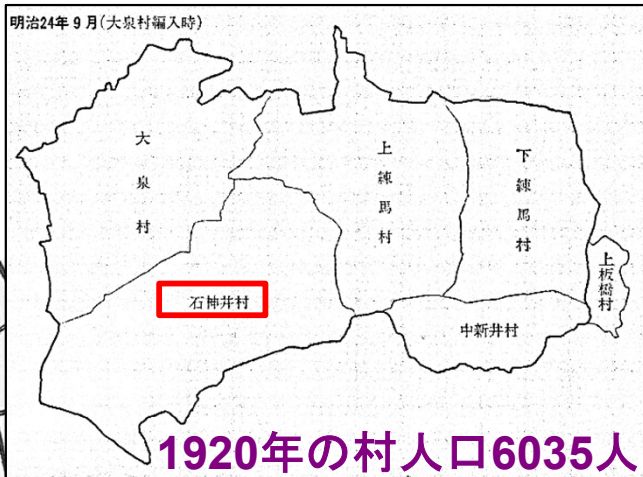
- 2. 森ヶ崎会議(解党決定)

- ・1925年 治安維持法公布

2 「豊島館」と当時の石神井村

参加者のその日
(野坂参三の場合)

- ・三日前、市川義雄から知らせを受ける。その場で案内図を書き、その場で焼処分
- ・当日早朝大森の家を出る。省線で池袋、武蔵野鉄道に乗り換え、石神井駅下車。
- ・駅前、商店街などなく全くの農村。会場に向かう途中に2, 3軒の店あり。
- ・公園入口近くにピケがいた。そこを右に曲がって三宝寺池に出た。小岩井浄と会うが話はせず目礼だけ。
- ・豊島館は料亭とは言っても「粗末なお休みどころ」のように見えた

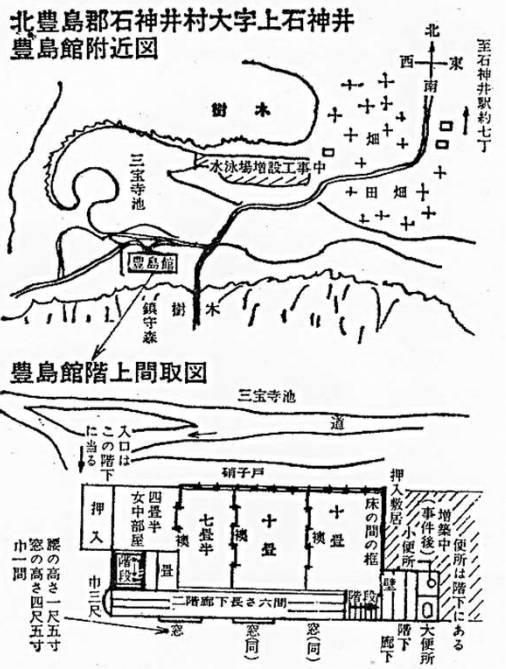


当時の三宝寺池(手前)

3 当日(1923.03.15)の進行と状況



予審検事調書をもとに作図、平面図は南北逆との証言もある



野坂参三『風雪のあゆみ 4』1977年 新日本出版社 掲載の図

- ・1階玄関で渡辺満三が案内
- ・2階10畳二間に通される
- ・午前11時頃 参加者揃う
- ・議長など選出
- ・党務報告(堺) - 党員58人
- ・昼食 - 駅近くの食堂の丼物
- ・午後から綱領草案審議
- ※7.5帖に他の客あり
- ※女中が障子穴より見てた
- ・午後9時頃 閉会

席	氏名	年齢	注記(樋口)
A	不明		
B	堺利彦	52	福岡/平民新聞
C	不明		
D	議長 猪俣津南雄	34	新潟/早稲田/マル経労農派
E	副議長 近藤栄蔵	40	小石川/加留学/下関遊興事件
F	不明		
G	田所輝明	23	小樽/早稲田/労農党
H	浦田武雄	30	熊本/日大/暁民会
I	上田茂樹	23	大分/社会主義同盟
J	西雅雄	27	岡山/社会主義研究
K	不明		
L	高津正直	22	広島/早稲田/暁民会
M	荒畑寒村	36	横浜/社会主義同盟
N	不明		
O	野坂参三	31	山口/慶応/友愛会一ソ連
P	杉浦啓一	26	静岡/労組
Q	設営 渡辺満三	31	愛知/時計工労組
R	吉川守圀	40	檜原村/平民社
S	佐野学	31	豊後/東帝大/獄中転向声明
T	不明		
U	不明		
V	中曾根源和	28	沖縄/沖縄師範/独立論
W	書記 高瀬清	22	岐阜/早稲田/設立大会場所
X	不明		見張りか?
Y	不明		見張りか?
出席の有無、会議席などが不確定の人			
	市川義雄	29	山口/東京毎日記者/兄正一
	小岩井淳	26	長野/東帝大/弁護士
	辻井民之助	30	京都/労組/西陣
	川内忠彦	24	福岡/外語大/博士科研
	高野武二		
	山本		
	平林初之輔	31	京都/早稲田/種時く人
	橋浦時雄	32	鳥取/早稲田/社会主義同盟
	金子健太	24	深川/鉄工所
	渡辺政之輔	24	市川/労組

4 何が話し合われたのか、なぜ「綱領審議」の地なのか

・1922.7.15 日本共産党創立

・1922.11.5 コミンテルン第四回大会

日本支部(日本共産党)承認、綱領草案(22テ-ゼ)が提起される

・1923.2.4 市川第二回党大会

コミンテルン大会報告、規約、人事を協議。綱領審議は臨時大会で。

・1923.3.15 石神井臨時党大会

綱領草案審議(22テ-ゼを受けて)の論点

□ 日本革命の性格

第一革命(ブルジョア革命)と第二革命(プロレタリア革命)。第二革命の一段革命か第一から第二の二段革命か。結論を得られず、審議未了。

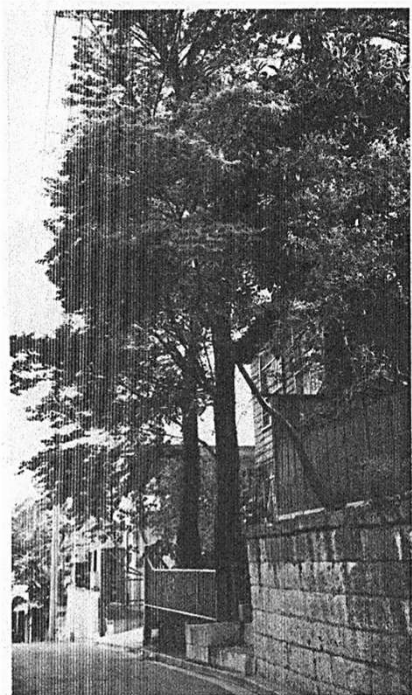
□ 無産政党問題

普通選挙・議会闘争への態度と戦術。表面政党＝合法無産政党の可否について、日本革命の性格と関連。

□ 天皇制をめぐる討議 (書記の判断で議事録に記載せず)

慎重な意見出されるも、「君主制の廃止」を目指すことは満場一致で決定。実際の行動へ課題が移る。

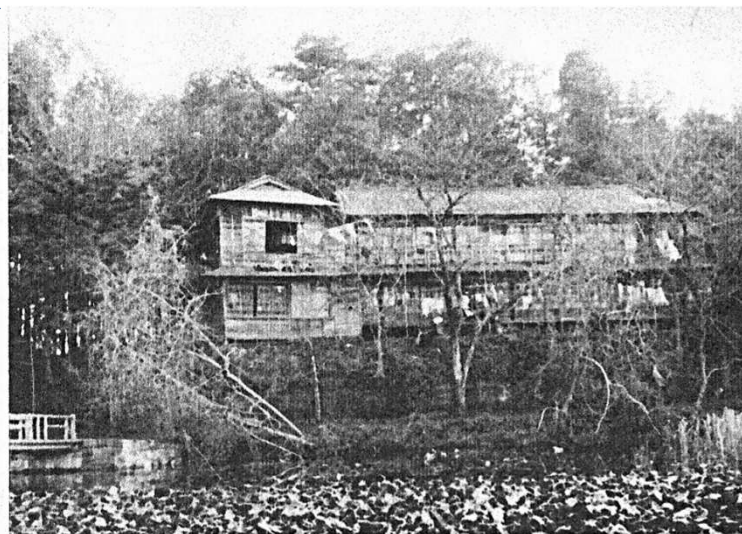
5 なぜ「豊島館」が会場に選ばれたのか



18
創立大会



20
第二回党大会



21

臨時党大会

創立大会 1922.7.15

- ・渋谷伊達町(現恵比寿)の民家
天現寺が近い、近所に交番あり
- ・高瀬清の借間、2階6帖間

第二回大会 1923.2.04

- ・市川(江戸川近く)の料亭「一直園」
- ・徳田球一の知人の紹介
- ・徳田や他数人は利用した事あり
従業員にシンパがいた

石神井臨時大会 1923.3.15

- ・石神井村三宝寺池湖畔「豊島館」
- ・3.12渡辺満三「豊島館」へ借受
渡辺満三はこの大会の設営担当
- ・「豊島館」が選ばれた経緯は不明
今後調査を続行

6 「石神井会議」は練馬革命運動の源流か？

1923年 石神井会議

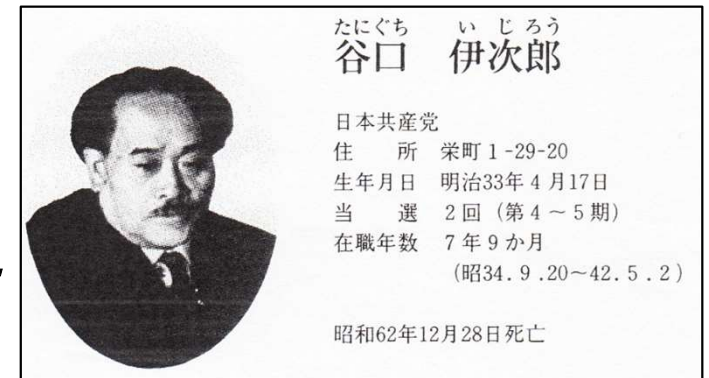
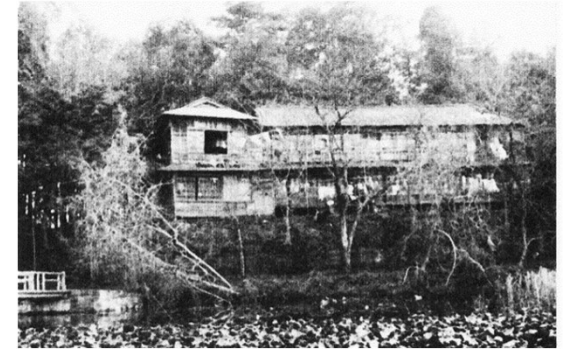
? 1945年 ポツダム宣言受諾 敗戦
1947年 練馬区独立

1947年 第一回区議選
共産党谷口伊次郎立候補
443票で落選

1959年 第四回区議選
区政初めての共産党区議2名誕生

1975年 第八回区議選
共産党区議8名当選

1975年12月「石神井のつどい」
翌日から「豊島館」取り壊し



7 豊島館 床柱物語

- ・「豊島館」取り壊しの計画、保存運動起こるも実現せず
- ・1975年12月「石神井のつどい」
- ・翌日から「豊島館」取り壊し、谷原小林宅に床柱運び込まれる
小林宅の裏側に立て掛けられ、そのまま保存(屋外)
- ・1987年 共産党高齢者後援会で床柱の行方話題になる。
2日後、小林宅に保存されているのを確認
- ・19・・年 赤旗まつりに展示のため小林宅から運び出される
- ・2014年 赤旗まつり会場から党本部倉庫に運ばれ保存

